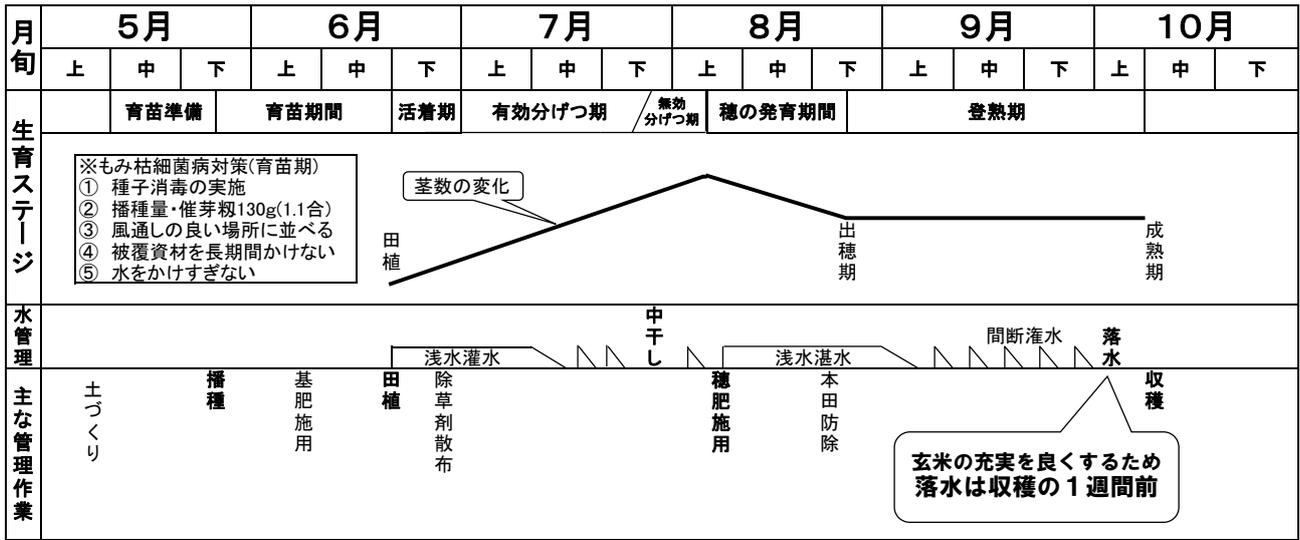


令和6年産 特別栽培米ヒノヒカリ暦

朝倉カンントリーエレベーター利用組合
JA筑前あさくら東部営農センター

作業毎に日誌の記帳を！！



育苗基準

※健苗育成と、病害の発生を防ぐ為、23日苗を目安とする。

- 種子**
 - 全量毎年種子更新を行う。(栽培履歴証明、品種特性維持、病害虫予防)
- 用土**
 - 10a当たりあさくら培土4袋を準備する。
- 種子消毒**
 - テクリードCフロアブル200倍液とスミチオン乳剤1000倍液に24時間浸漬。(水10ℓにテクリードCフロアブル50cc+スミチオン乳剤10cc)
- 浸種**
 - 芽立ちを揃えるため、浸種日数は充分にとる。
 - 1日1回水替えし、1mm程度芽出しを行う。
 - 水替え時に上下の種袋を入れ替える。(芽出しを揃えるため)
 - 種子は播種前日の夕方にあげる。
- 播種**
 - 播種量は催芽粉で1箱当たり130g(1.1合)を基準とする。
- 平床育苗**
 - 覆土は十分行き、苗箱は日当たりが良く風通しの良い場所に並べ、被覆資材で被覆する。
 - 土が乾いたら灌水する。
 - 苗の長さが4~5cmになったら被覆資材を除去する。

7. 箱施肥

農薬名	使用時期	使用量	対象病害虫
防人箱粒剤	は種時(覆土前)~田植当日	1箱当り50g	いもち病 ウンカ類 コブノメイガ
ブーンゼクテラ箱粒剤			

※確実に1箱当たり50g施用しないと防除効果が劣る。

土づくり

分類	資材名	施用量 10a当たり	備考
有機質	万能堆肥	2t	腐植の増加、土壌通気性の向上、保水性の向上
土改剤	ミネラルG	200kg	微量要素の供給
	ケイカル珪鉄		・けい酸の供給 ・鉄分の供給

施肥基準

(kg/10a)

	肥料名	基肥	穂肥	N	P	K
慣行	大地のめぐみ(ケイフン)	120		10.4	9.1	8.5
	ちくこのめぐみ444	15		(無機N3.8)		
	スーパーユーキくん3号		35			
省力	大地のめぐみ(ケイフン)	60		10.2	6.0	4.8
	有機エムコート355(100日)	60		(無機N3.9)		

※省力の施肥体系では減収することがある。

※有機物・リン酸・カリ補給のため、発酵ケイフンを必ず施用する。

※野菜跡は、生育に応じて基肥の量を加減する。

除草剤使用基準

除草剤名	使用時期(田植後)	ヒエの葉齢
ガンガン 1キロ粒剤/豆つぶ250/ジャンボ	3~10日	2.5葉期
キマリテ 1キロ粒剤/フロアブル/ジャンボ	0~12日	3.0葉期

※除草剤散布後は、1週間程度落水口を閉め、湛水状態を保つ。

病害虫防除基準

○基本防除(1回のみ)

時期	体系	農薬名	使用量 (10a当たり)	対象病害虫
8月下旬 (出穂直前)	粉剤	ダブルカットバリダスターク粉剤3DL	4kg	いもち病、紋枯病、ウンカ類、カメムシ類
		ノンプラスバリダフロアブル	1000倍	いもち病、紋枯病
	液剤	スターク液剤10	1000倍	ウンカ類、カメムシ類

耕種的防除基準

いもち病対策

- 窒素過多とならないよう施肥基準を守る。
- 土改剤は病害に対する抵抗力を強めるので、左表のいずれかを施用する。
- 補植苗は不要になったら早急に処分する。

紋枯病対策

- 窒素過多とならないよう施肥基準を守る。

- 栽植密度は坪60株とし、植付け本数を3~4本とする。
※1株当たりの本数が多いと、紋枯病を助長し、倒伏しやすい。

カメムシ対策

(稲が出穂すると、水田へ侵入し穂を吸汁するので、斑点米の原因となる。)

- 水田周辺の雑草管理を徹底し、カメムシの生息密度を下げる。
- 畦草刈りは出穂2週間前までに終わらせ、出穂期以降は行わない。

○病害虫対策の基本方針

特裁ヒノヒカリは病害虫の本田防除が
出穂直前の1回のみです！！

耕種的防除の徹底、土改剤施用で
硬い稲を作り、病害虫を防ぎましょう。

※肥料・農薬は令和6年1月29日時点の登録に基づき記載しています。